



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 TOYO TIRE株式会社 上場取引所 東
コード番号 5105 URL <https://www.toyotires.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 隆史
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート統括部 (氏名) 延澤 洋志 TEL 072-789-9100
門管掌
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日
配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	127,557	△1.2	25,975	78.2	31,880	101.8	23,058	111.9
2023年12月期第1四半期	129,160	26.9	14,574	△9.9	15,801	△23.0	10,883	△38.8

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 36,343百万円 (155.3%) 2023年12月期第1四半期 14,233百万円 (△47.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	149.76	-
2023年12月期第1四半期	70.69	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	660,455	419,224	63.5
2023年12月期	645,480	395,199	61.2

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 419,224百万円 2023年12月期 395,199百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	20.00	-	80.00	100.00
2024年12月期	-	-	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	50.00	-	55.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	270,000	1.7	40,000	50.0	32,000	△17.4	21,000	△27.9	136.39
通期	560,000	1.3	78,000	1.4	68,000	△21.0	45,000	△37.7	292.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	154,111,029株	2023年12月期	154,111,029株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	143,037株	2023年12月期	142,724株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	153,968,159株	2023年12月期 1 Q	153,952,972株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは異なることがありますことをご承知おきください。業績予想の背景及び前提となる条件等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当期の経営成績

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、米国では、個人消費は底堅さを保っているものの、インフレ対策としての金融引き締め効果発現により労働市場の軟化、インフレ鈍化傾向が続いており、全体としては景気拡大ペースの鈍化が継続しています。欧州においても、インフレ対策としての金融引き締め効果発現により、生産、消費活動の低迷が明確となり、内外需ともに経済活動の復調の勢いは乏しい状態が続いています。わが国では、各種政策の効果もあり景気は緩やかに回復しているものの、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクや物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等に注視する必要があります。

このような状況のもと、当社グループは2021年を起点とする5ヵ年の中期計画「中計'21」を策定し、その中で掲げた各種経営指標を実現するため、これまで培ってきた得意分野や独自性、研鑽してきた機能別組織機能、変革・強化を図ってきたガバナンスやコンプライアンス体制をベースに置きながら、取り巻く変化に迅速、かつ柔軟に適應する力を当社グループ全体で強化することに取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は127,557百万円（前年同期比1,602百万円減、1.2%減）、営業利益は25,975百万円（前年同期比11,401百万円増、78.2%増）、経常利益は31,880百万円（前年同期比16,078百万円増、101.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23,058百万円（前年同期比12,174百万円増、111.9%増）となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

② 事業別の状況

(タイヤ事業)

北米市場における市販用タイヤについては、インフレの長期化やアジア品を中心とした安価なタイヤの流入があり、販売量は前年度を下回りましたが、OPEN COUNTRY A/T III（オープンカントリー・エーティースリー）や昨年上市したCELSIUS II（セルシアスツー）などの重点商品は需要が堅調で商品ミックスが改善したため、売上高は前年度を上回りました。

欧州市場における市販用タイヤについては、採算性を意識した供給戦略の推進に加えて、紅海情勢悪化による物流遅延の影響等を受けて、販売量及び売上高ともに前年度を大きく下回りましたが、値上げや商品ミックスの改善による収益性の改善に努めました。

国内市場における市販用タイヤについては、国内需要の減少に加え、寒波の影響による夏タイヤへの履き替えの遅れから販売量は前年度を大きく下回りました。新商品PROXES CF3（プロクセス・シーエフスリー）や OPEN COUNTRY（オープンカントリー）シリーズなど付加価値商品の販売への注力、並びに昨年実施した値上げ効果を受けて、価格及び商品ミックスは改善しましたが、販売量の減少が影響し売上高も前年度を大きく下回りました。

新車用タイヤについては、自動車メーカーの生産は回復基調となりましたが、当社製品装着車種の販売が低調であったことなどにより、販売量及び売上高ともに前年度を大きく下回りました。

その結果、タイヤ事業の売上高は116,566百万円（前年同期比1,389百万円減、1.2%減）、営業利益は25,654百万円（前年同期比11,041百万円増、75.6%増）となりました。

(自動車部品事業)

自動車部品事業については、自動車メーカーの生産が回復基調となり、自動車部品事業の売上高は10,991百万円（前年同期比208百万円減、1.9%減）、営業利益は314百万円（前年同期は38百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は660,455百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,974百万円増加しました。これは、主として、棚卸資産や有形固定資産が増加したことによります。

また、負債は241,230百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,051百万円減少しました。これは、主として、未払金や未払法人税等が減少したことによります。なお、有利子負債は110,637百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,923百万円増加しました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は419,224百万円となり、前連結会計年度末に比べ24,025百万円増加しました。これは、主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金、円安の影響により為替換算調整勘定が増加したことによります。

この結果、自己資本比率は63.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間、通期の業績予想につきましては、2024年2月14日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,879	41,124
受取手形及び売掛金	107,794	109,671
商品及び製品	77,465	95,297
仕掛品	5,060	5,350
原材料及び貯蔵品	24,536	25,568
その他	31,504	26,176
貸倒引当金	△269	△286
流動資産合計	298,972	302,902
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	86,796	89,177
機械装置及び運搬具（純額）	127,020	138,273
その他（純額）	72,973	67,480
有形固定資産合計	286,790	294,930
無形固定資産		
無形固定資産	15,802	17,319
投資その他の資産		
投資有価証券	17,750	19,370
その他	26,268	26,036
貸倒引当金	△102	△104
投資その他の資産合計	43,915	45,302
固定資産合計	346,508	357,552
資産合計	645,480	660,455

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,262	37,598
短期借入金	11,653	18,311
未払金	32,527	21,386
未払法人税等	18,783	10,680
製品補償引当金	456	324
関係会社整理損失引当金	1,997	1,868
その他	39,141	42,466
流動負債合計	142,822	132,636
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	45,992	45,783
退職給付に係る負債	3,524	3,510
製品補償引当金	928	914
訴訟損失引当金	1,432	1,432
その他の引当金	92	93
その他	30,489	31,859
固定負債合計	107,459	108,594
負債合計	250,281	241,230
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,935	55,935
資本剰余金	54,197	54,197
利益剰余金	221,333	232,074
自己株式	△120	△121
株主資本合計	331,344	342,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,812	7,925
繰延ヘッジ損益	103	△70
為替換算調整勘定	45,170	57,747
退職給付に係る調整累計額	11,767	11,536
その他の包括利益累計額合計	63,854	77,139
純資産合計	395,199	419,224
負債純資産合計	645,480	660,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	129,160	127,557
売上原価	76,808	69,786
売上総利益	52,351	57,770
販売費及び一般管理費	37,777	31,795
営業利益	14,574	25,975
営業外収益		
受取利息	176	259
受取配当金	185	202
為替差益	1,269	5,528
持分法による投資利益	5	—
その他	259	559
営業外収益合計	1,896	6,550
営業外費用		
支払利息	267	257
持分法による投資損失	—	6
その他	401	381
営業外費用合計	669	645
経常利益	15,801	31,880
特別利益		
固定資産売却益	—	555
投資有価証券売却益	—	148
特別利益合計	—	703
特別損失		
固定資産除却損	101	79
減損損失	464	74
関係会社整理損	247	—
製品補償対策費	78	—
特別損失合計	891	153
税金等調整前四半期純利益	14,909	32,430
法人税等	4,167	9,371
四半期純利益	10,742	23,058
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△140	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,883	23,058

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	10,742	23,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,716	1,113
繰延ヘッジ損益	△46	△174
為替換算調整勘定	1,867	12,493
退職給付に係る調整額	△89	△231
持分法適用会社に対する持分相当額	41	83
その他の包括利益合計	3,490	13,285
四半期包括利益	14,233	36,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,372	36,343
非支配株主に係る四半期包括利益	△139	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社を除き、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	タイヤ事業	自動車 部品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	117,955	11,200	129,156	4	129,160	—	129,160
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	4	4	△4	—
計	117,955	11,200	129,156	9	129,165	△4	129,160
セグメント利益又は損失 (△) (営業利益又は損失(△))	14,613	△38	14,574	0	14,574	0	14,574

当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	タイヤ事業	自動車 部品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	116,566	10,991	127,557	—	127,557	—	127,557
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	0	0	△0	—
計	116,566	10,991	127,557	0	127,558	△0	127,557
セグメント利益又は損失 (△) (営業利益又は損失(△))	25,654	314	25,969	5	25,975	0	25,975

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。